



小鳥の森で観察してみよう 59

ミツバアケビ

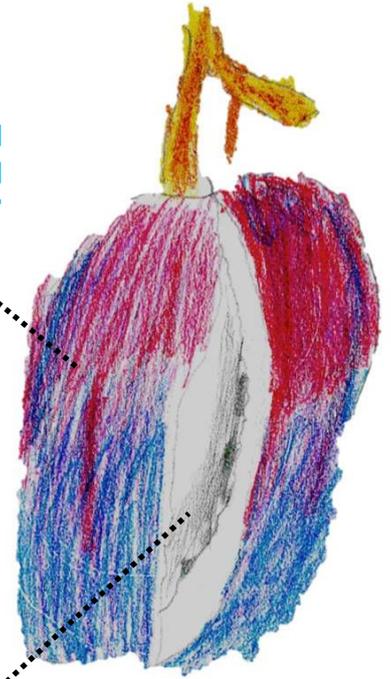
分類：アケビ科

実の大きさ：約10cmの
だえんけい
楕円形

生態：山野や明るい林を好み、アケビに比べて荒れた場所や乾燥した場所でも生育できます。

小鳥の森での観察：
コナラ林の中などで
見ることができます。

熟すと皮が緑色から紫色になります。



皮が裂けると、たくさんの種を含む白いゼリー状の果肉が見えるようになります。

三瓶 瑛太

今回の絵は、三瓶 瑛太くんが描いてくれました。

9月の自然予報

9月～10月上旬にかけて、旅をするチョウで有名な「アサギマダラ」が通過していきます。福島市小鳥の森では、通過のため1～2日ほどですぐに見られなくなってしまいます。

アサギマダラは、体内に毒を持つので、鳥に狙われる心配もないようで、優雅にフワフワと飛んでいます。

見られる頭数は少ないのですが、ぜひ見てもらいたいチョウのひとつです。

2012/10/5

2013/10/4

2015/9/12

← 過去のアサギマダラの記録



7・8月の自然

7月16日・17日にネイチャーセンター脇にある小さな池に、カワセミが来ました。



カワセミは近くの枝などに身動きをせずにひそみ、獲物を捕まえるチャンスを待っているようです。狙いが定まると一瞬で水に飛び込みザリガニをくわえて同じ枝に戻っていました。

捕まえたザリガニは枝などに打ち付けハサミを取り外してから丸のみにしていました。

カワセミは水にもぐる時、半透明な「瞬膜（しゅんまく）」を閉じることで、目を守りながら水の中を見ることができます。上手に捕まえるために、水の中でも獲物を見逃さないようにしているようです。

小鳥の森スタッフだより

葉っぱのない花を知っていますか？

小鳥の森では、毎年8月中旬頃になると「キツネノカミソリ」という花が咲きます。不思議なことに花は咲いているのに葉っぱがありません。

また、9月に入ると「ヒガンバナ」が咲きますが、こちらと同じように葉っぱがありません。

葉っぱは、光を浴びて養分を作る場所なので、植物にとって大切なのですが、葉っぱのないこれらの植物はどのようにして養分をつくるのでしょうか。

実はキツネノカミソリやヒガンバナはどちらも春に葉っぱだけで過ごす時期があります。葉っぱの養分を根っこ（球根）に貯め、葉っぱを枯らした後に茎を伸ばし、花を咲かせるのです。

花の時期は目立ちますが、葉っぱだけの時期には見過ごしてしまいがちです。花の場所を覚えておいて、春にもう一度葉っぱを探しに来てみてはいかがでしょうか。（いがらしレンジャー）



キツネノカミソリ



ヒガンバナ

職場体験を経験して

北信中学校2年生3名がレンジャーの仕事を4日間体験した感想を書いてもらいました。

（丸山大樹くん）

普段はあまり見る事のない虫や植物を見ることができ、レンジャーの仕事の内容も知ることができたので良かった。AOZに行って講演前に色々な用意が必要だとわかった。バードコールなど初体験の事ができて良かった。

（品川佳祐くん）

色々な小鳥の名前や植物を知ることができた最初は緊張していたけれどレンジャーの皆さんと話をしていると緊張が和らいで楽しかった。講演会ではたくさんの人とコミュニケーションがとれて、話してくれる方もいて良かった。

（松永一卓くん）

普段見ない巣箱や植物を見られてすごいと思った。予想よりもすごいハードだったが、僕もこのような仕事に就きたいと思った。

AOZで、バードコールを吹いた事と、巣箱の調査をしたことが印象に残った。

※福島市小鳥の森では色々なイベントを開催しています。また市内の学校や様々な団体向けに出前講座も実施しています。詳しくはネイチャーセンターまでお気軽にお問い合わせ下さい。

*小鳥の森ホームページで小鳥の森スタッフが独自に測定した環境放射線量を公開しています。

福島市小鳥の森（ネイチャーセンター） 開館時間：午前8時30分～午後5時
《入場無料》 休館日：毎週月曜日（祝祭日の時はその翌日）

〒960-8202 福島市山口字宮脇 98 Tel: 024-531-8411 fax: 024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.f.kotorinomori.org/>

小鳥の森通信「しじゅうから」2016年9月号No.370/企画・発行：福島市小鳥の森/日本野鳥の会ふくしま

